

Alpine Report

第43期第2四半期(中間)決算報告書

2008年(平成20年)4月1日~9月30日

Driving Mobile Media Solutions™

モバイルメディアの未来価値へ



師走の候、株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第43期第2四半期(中間)決算報告書をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当中間期の連結業績は、米国をはじめとするグローバル経済減速に伴う新車販売台数減少の影響により大型車向けの受注が伸び悩みましたものの、欧州向け大型システム商品を計画通りに立ち上げたことにより、期初計画を達成することができました。

しかしながら、下期につきましては、实体经济の更なる悪化から主要取引先自動車メーカー向け売上が当初計画を下回ると想定されます。このような事業環境の激変を踏まえ、通期計画(連結)を売上高2,350億円、経常利益45億円、当期純利益30億円に修正いたしました。当計画達成のための施策といたしまして、従来から取り組んでおります事業計画「CHALLENGE30」をさらに加速させ、開発・コスト・間接の構造改革を強力に推進し、事業の効率化と企業体質の強化に努めてまいります。

また、信用収縮が強まるなか、当社はキャッシュ・フローを改善し手元流動性を高め、財務体質の充実を図り、株主の皆様安心して投資していただける企業を目指します。中間配当金につきましては、前中間期と同じく1株につき10円とさせていただきます。期末配当につきましては前期末同様15円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2008年12月

代表取締役社長

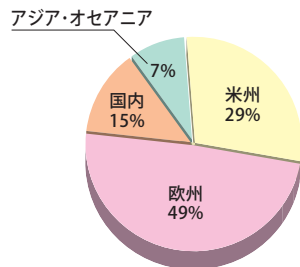
石黒 征三



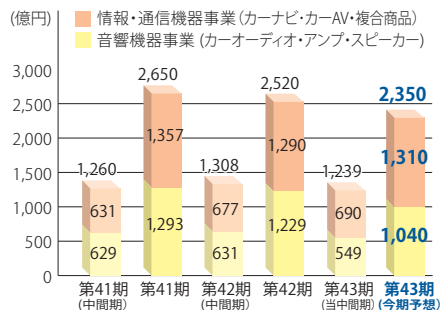
主要経営指標の推移(連結)

	第43期第2四半期累計(当中間期) 2008年4月1日～2008年9月30日	第42期第2四半期累計(前中間期) 2007年4月1日～2007年9月30日	前年同期比増減
売上高	1,239 億円	1,308 億円	5.2% 減
営業利益	10 億円	53 億円	81.1% 減
経常利益	31 億円	55 億円	42.2% 減
当期(中間)純利益	22 億円	29 億円	23.1% 減
1株当たり当期(中間)純利益	32 円 94 銭	42 円 83 銭	—
総資産	1,760 億円	1,817 億円	57 億円減
ROA	1.3%	1.6%	0.3ポイント減

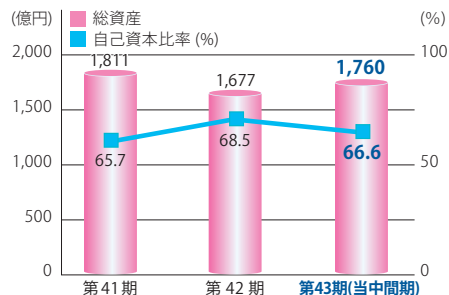
地域別販売比率(第2四半期累計)



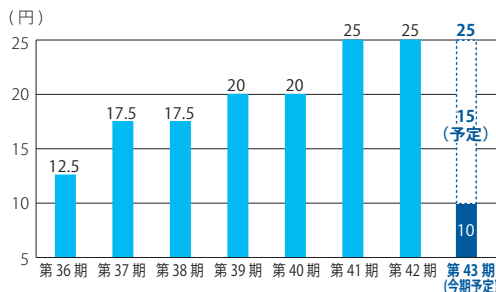
事業部門別販売構成の推移



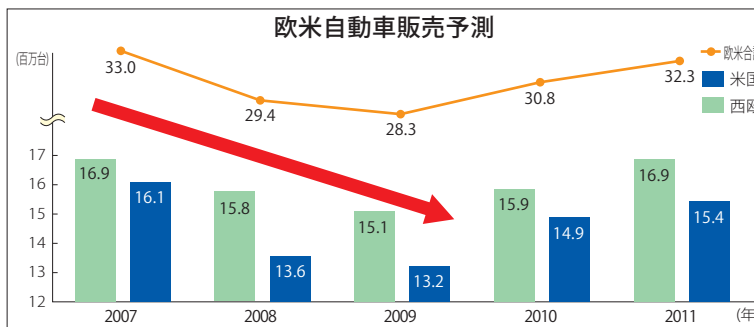
総資産・自己資本比率の推移



配当金推移



欧米自動車販売予測



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

新製品発表、用品大賞受賞など、ますます活気付く「リアビジョン」製品



近年、ミニバンを中心に人気の高まりつつある天井吊下げ型リアモニター「リアビジョン」をカーナビゲーションの新たな魅力として一体化した「リアビジョンナビ X077」を10月初旬に発売しました。リアシートで DVD ビデオや地上デジタル（地デジ）放送を高画質で楽しめる「リアビジョン」、そして発表以来その高い先進機能と美しい画質で高評価をいただいているモバイル・メディア・ステーション。それらをよりお求めやすくより使いやすくというお客様の声に対応して今回登場したのが、「リアビジョンナビ X077」です。ご家族がミニバンの中で一緒に過ごす大切な時間を、より楽しく快適にすることを指すとともに、他社製品との差別化を図ることで市販市場における販売強化に努めてまいります。

また、日刊自動車新聞社が主催する第21回日刊自動車新聞用品大賞2008において、3万点にも及ぶ候補商品の中から審査委員満場一致で、当社の「リアビジョン TMX-R1500/R1100」が大賞を受賞、7月3日、東京都内のホテルにて表彰式が開催されました。この用品大賞は、商品の販売量だけではなく、アイデア、技術、市場へのインパクトなどの優れたものに贈られるものです。「リアシート・エンターテイメント」という新たな市場を創出したこと、専用取り付けキットを37車種分用意してほとんどのミニバンに対応、取り付けが容易になったことに加え、お客様やカーショップへのサポート体制も充実していること、そして新車の販売促進に大きく貢献したことの三点において、高く評価されました。今回の受賞を機に更なる拡販につなげていくよう、努力してまいります。



2008年6月20日付 日刊自動車新聞掲載



北米市場でポータブルナビ「PND-K3」を発表

PND-K3



北米市場においては、需要の高いPND（ポータブル・ナビゲーション・デバイス）の新製品となる「PND-K3」を発表しました。アルパインの第三世代PNDとなるこのオールインワン型ポータブルナビは、4.3インチの液晶ディスプレイを搭載、高速道路のジャンクション・ビューや一方通行道路のアイコンなどを表示する新型地図を搭載した高性能ナビゲーション・システムであると同時に、Bluetoothハンズフリーシステム、音声ガイド機能など、情報端末として高い操作性を実現。また、Microsoft社の提供するMSN Directに対応した「PND-K3msn」では、渋滞情報やガソリンの価格情報のほか、最新ニュースや株価、天気情報などが取得可能に。ユーザーニーズにいち早く対応し、販売拡大を目指します。

「iDA-X100」が2008年度グッドデザイン賞を受賞

アップル社との強固なパートナーシップにより誕生したiPod専用ヘッドユニット「iDA-X100」が、この度2008年度グッドデザイン賞を受賞しました。「iDA-X100」は、ユーザーが普段の生活で慣れ親しんでいるiPodを、そのまま車の中でシームレスに楽しむことを目的として開発されました。運転中という使用状況に最適化された信頼性の高いロータリーノブ、通常回転／押し込み回転のダブルアクション・エンコーダーに適したグリップ形状、そしてより確実な操作を実現する、美しくレイアウトされた機能ボタンなどが高く評価されての受賞となりました。

iDA-X100



躍進する中国市場の北京モーターショーに出展



2008年4月20日から28日まで、中国・北京において北京モーターショーが開催されました。世界20カ国から2,000社以上の企業が出展し、680,000人も
の来場がある中、アルパインは独自の存在感をアピール。今回アルパイン
ブースは、「AVN」、「ヘッドユニット」、「IMPRINT」、「ディーラーオプション」の
4つのカテゴリーゾーンで構成し、最新の地図データベースを搭載したナビ
ゲーション「N900C」や、iPod専用ヘッドユニット「iDA-X100」、さらに
IMPRINTモジュール「PXA-H100」やアンプ、スピーカーなど、2008年の新製
品を多数展示しました。またデモカーとして、AVNシステムを搭載した三菱
ランサー、そしてIMPRINTとリアエンターテインメントシステムを搭載したホン
ダアコードの2台を展示。今後さらに市場拡大が期待される中国において、
アルパインの提案するモービルメディア・ソリューションをアピールしました。

「ALPS SHOW 2008」に出展し、グループの総合力を訴求

アルプスグループの基幹3社（アルプス電気、アルパイン、アルプス物流）
が製品・技術を一堂に集め、得意先をはじめとする方々に広く紹介する
「ALPS SHOW 2008」が9月24日から26日の3日間、東京・品川にて
開催されました。アルパインは当社のコーポレートメッセージである
「Driving Mobile Media Solutions（モービルメディアの未来価値へ）」
を出展テーマとし、当社の企業ドメイン「AVNCD（Audio, Visual,
Navigation, Communication, Drive Assist）」ごとに新製品を展示。中
でも10月初旬に国内市販市場に投入した「リアビジョンナビ」は一般には
初のお披露目となり、注目を集めました。また、アルパイン独自の音響技術システム「IMPRINT Sound System」を搭載し
たデモカーMINIや、フラッグシップモデル「F#1 Status」の製品も展示。アルパインが提案する「モービルメディア・ソリュー
ション」の世界観を、約5,000人の来場者へ向けてアピールしました。





アルパイングループにおける開発力の強化



増築したアルパイン技研の新社屋



開発推進のための新テストコース

新たな技術分野である DA (ドライブアシスト) の開発推進、そして従来から取り組んでいる開発効率向上を目指した中国へのパワーシフトなど更なる技術力強化が重要課題となっております。そこで、より効率的かつ競争力のある技術開発を可能とすべく、国内技術部門の再配置を実施いたしました。この施策の一環として、この度主要関連会社の一つであるアルパイン技研(株)を増築、社屋の床面積は従来比 60% 増の 2,000 坪となり、

収容可能人員数も 200 人から 430 人へと大幅に拡張しました。さらに、従来は分かれていた事業所を統合、ワンフロアで組織をコントロールすることで、一枚岩での連携が可能となります。今後は技術部門の開発効率向上を図りながら、技術体制全体の強化に努めてまいります。

品質工学でアルパインの取り組みが好評価

去る 6 月 25・26 日に品川区「きゅりあん」にて、第 16 回品質工学研究発表大会が開催されました。同発表会では企業・研究機関が合計 145 件の品質工学に関するテーマを発表し、アルパイングループからは 18 件の発表がありました。アルパイン(株)が初めて獲得した品質工学賞 発表賞の銀賞では、品質工学の考え方に基づき消費電力のばらつきによる機能性評価を用いて、クランプ機構の長寿命化と評価工数の大幅な短縮の可能性を示した取り組みなどが評価されました。受賞者代表のアルパイン(株)山野さんからは、「本研究に際しアドバイスを頂いた関係者の方々に深く感謝いたします。今後も物事の本質を捉える研究を進めていきたいと思っております」とコメントが寄せられています。各賞については下記の通りです。

【財精密測定技術振興財団品質工学賞 発表賞 銀賞】

テーマ：CD メカニズムにおけるディスククランプ機構の最適化 受賞対象：アルパイン(株)

【ASI 賞】

論文名：電流・電圧特性による手はんだ工程条件の最適化 受賞対象：アルパインプレジジョン(株)

【広報部会感謝状】

アルパインプレジジョン(株)



アルパイン(株) 白木氏(左)、山野氏(右)



アルパインプレジジョン(株) 楠木氏(左)

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

資産の部	第43期第2四半期累計 (当中間期) 2008年9月30日現在	第42期(前期) 2008年3月31日現在	負債・純資産の部	第43期第2四半期累計 (当中間期) 2008年9月30日現在	第42期(前期) 2008年3月31日現在
① 流動資産	110,067	103,756	流動負債	53,455	48,265
現金及び預金	32,440	30,172	支払手形及び買掛金	32,212	26,360
受取手形及び売掛金	34,792	31,825	短期借入金	119	215
棚卸資産	29,681	28,464	その他	21,123	21,688
その他	13,153	13,290	固定負債	4,044	3,255
固定資産	65,955	64,029	負債合計	57,500	51,520
有形固定資産	33,109	32,851	株主資本	110,921	109,388
無形固定資産	7,211	7,004	評価・換算差額等	6,256	5,469
投資・その他の資産	25,633	24,173	少数株主持分	1,345	1,406
資産合計	176,022	167,785	純資産合計	118,522	116,264
			負債・純資産合計	176,022	167,785

(単位:百万円)

[当中間期 連結財務諸表のコメント(ポイント)]

① 流動資産

営業キャッシュフローの確保による現金・預金および売上債権の増加により、流動資産は増加しました。流動比率は206%となっております。

② 営業利益

売上高の減少および為替の円高に加え、大型システム商品の生産立ち上げ費用を要した為、減益となりました。

③ 営業外収益

為替予約取引等による為替差益(10億円)が発生した為、営業外収益が増加しました。

④ 特別利益

「通貨オプション契約」の残高を、第2四半期末(中間期末)相場で評価換算したことにより、通貨オプション評価益(15億円)を計上し、特別利益が増加しました。

⑤ 特別損失

原価法で算定しておりました棚卸資産の評価方法が企業会計基準の変更に基き低価法で算定する事となったため、前年度にかかる棚卸資産評価損(10億円)が発生し、特別損失が増加しました。

⑥ フリーキャッシュフロー

前年同期に比べ、営業活動によるキャッシュフローが90億円と増加し、投資活動によるキャッシュフローは67億円と減少した為、フリーキャッシュフローは23億円の収入となりました。



連結損益計算書

	第43期第2四半期累計 (当中間期) 2008年4月1日～ 2008年9月30日	第42期第2四半期累計 (前中間期) 2007年4月1日～ 2007年9月30日
売上高	123,999	130,867
売上原価	103,721	104,782
販売費・一般管理費	19,260	20,699
② 営業利益	1,018	5,385
③ 営業外収益	2,426	1,255
営業外費用	254	1,121
経常利益	3,189	5,519
④ 特別利益	1,702	5
⑤ 特別損失	1,526	260
税金等調整前当期純利益	3,366	5,264
税金(法人税等)	1,010	2,209
少数株主利益	57	67
四半期(中間)純利益	2,298	2,987

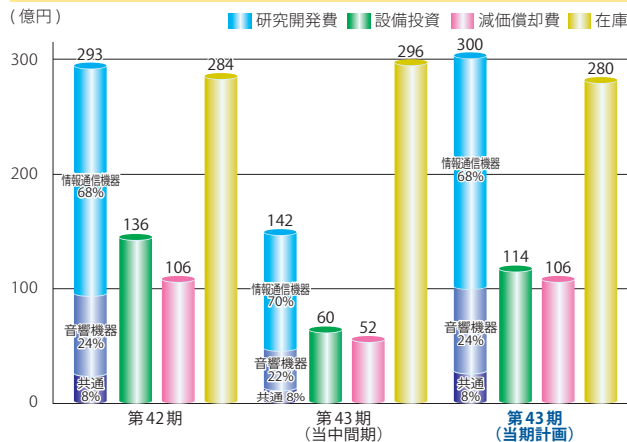
(単位:百万円)

連結キャッシュフロー計算書

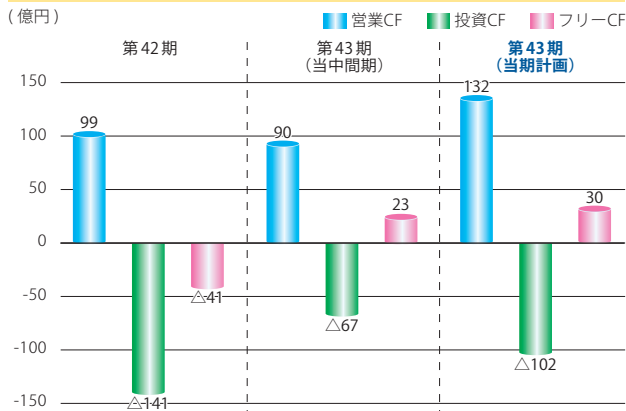
	第43期第2四半期累計 (当中間期) 2008年4月1日～ 2008年9月30日	第42期第2四半期累計 (前中間期) 2007年4月1日～ 2007年9月30日
営業活動によるキャッシュフロー	9,098	4,798
⑥ 投資活動によるキャッシュフロー	△ 6,705	△ 7,015
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,155	△ 970
現金及び現金同等物の換算差額	△ 24	440
現金及び現金同等物の増加額	1,213	△ 2,747
現金及び現金同等物の期首残高	30,159	37,507
現金及び現金同等物の期末残高	31,372	34,759

(単位:百万円)

投資・在庫計画



⑥ キャッシュフローの状況



(注)記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

会社の概要

会社概要 (2008年9月30日現在)

社名	アルパイン株式会社
英文社名	ALPINE ELECTRONICS, INC.
本社 / 東京事務所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101(大代表)
いわき本社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地 20番1号 TEL 0246(36)4111(大代表)
設立	1967年5月
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,784,501株
資本金	259億2,059万円
グループ従業員数	12,455名(連結ベース27社合計)
国内関係会社	アルパイン・マーケティング株式会社 アルパイン・テクノ株式会社 アルパイン・マニュファクチャリング株式会社 アルパイン・プレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパイン・ビジネスサービス株式会社 アルパイン・カスタマーズサービス株式会社 他4社
海外関係会社	27社 (米州:8社 欧州:9社 アジア・オセアニア:10社)
ホームページアドレス	http://www.alpine.com

役員の状況 (2008年9月30日現在)

氏名	当社における地位および担当または主な職業
石黒 征三	取締役社長 (代表取締役)
梶原 仁	常務取締役 欧州担当
佐藤 卓美	常務取締役 営業統括
西中川 元	常務取締役 生産・購買担当
宇佐美 徹	常務取締役 技術・開発統括
田中 統治	常務取締役 経理・管理担当
片岡 政隆	取締役 アルプス電気(株)代表取締役社長
古瀬 豊海	取締役 技術・開発副統括
中村 一男	取締役 AVNC 製品開発担当
相馬 聡	取締役 商品企画担当
猪狩 健次	取締役 技術本部担当
堀 重和	取締役 新事業製品開発・アライアンス担当
為 広 剛 彬	常勤監査役
奥山 直敬	監査役
吉野 賢治	社外監査役 公認会計士 アルプス電気(株)社外監査役
増田 好剛	社外監査役 弁護士



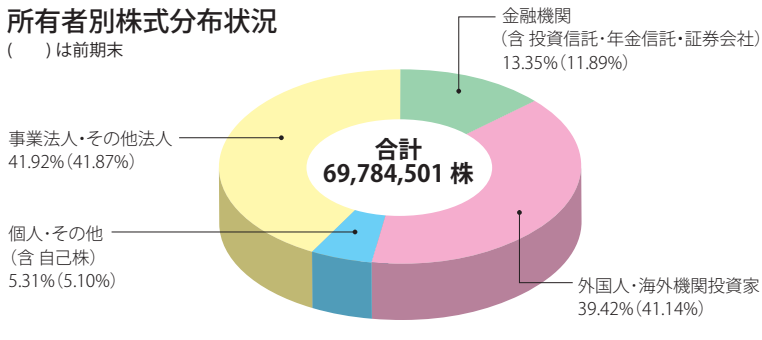
株式の状況 (2008年9月30日現在)

大株主 株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %	持株数 千株	持株比率 %
アルプス電気株式会社	28,215	40.43	—	—
ノーザン・トラスト・カンパニー (AVFC) サブアカウント・アメリカン・クライアント	6,603	9.46	—	—
オーエム・04エスエスピー・クライアント・オムニバス	4,286	6.14	—	—
ノーザン・トラスト・カンパニー・AVFC・リ・USタックス・エグゼンテッド・ベンション・ファンズ	2,549	3.65	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,473	3.54	—	—
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナルPLC	1,701	2.43	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,583	2.26	—	—
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	1,301	1.86	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	1,211	1.73	—	—
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・INC.	1,061	1.52	—	—
バンク・オブ・ニューヨーク・タックス・トリイティ・ジャスデック・オムニバス・ツアー	799	1.14	—	—
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	630	0.90	—	—
本田技研工業株式会社	585	0.83	3,600	0.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	544	0.77	—	—
HSBCファンドサービス・クライアント・アカウント500	509	0.73	—	—

(注) 信託銀行各社の持株数は、全て信託業務に係るものです。

所有者別株式分布状況

() は前期末



株主メモ

決算期日 年1回 3月31日
 利益配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については、3月31日。
 その他必要がある時は予め公告いたします。

定時株主総会
 公告掲載

6月下旬
 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>) に掲載いたします。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は EDINET (金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。

東京証券取引所市場第1部
 6816
 100株 (1単元)
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部

郵便送付先
 電話照会先

同取次所

〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 全国各支店

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル 0120-244-479 で24時間承っております。

◎株券の電子化実施に伴うご注意

株券の電子化実施後、各種お手続きは原則として口座を開設されている証券会社経由で行って戴くこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券の電子化実施時をもって廃止致します。尚、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本・支店でお支払い致します。



Driving Mobile Media Solutions

アルパイン株式会社

www.alpine.com